

平成30年8月5日～6日の豪雨における  
荒沢ダム（赤川水系赤川）の洪水調節効果について

8月5日から6日にかけて前線の影響により、山形県内全域に激しい雨が降りました。荒沢ダム流域では、降り始めからの総雨量が175mmを記録し、また、ダムへの最大流入量は531.45m<sup>3</sup>/sとなりました。（図-1）

この出水により、荒沢ダムでは洪水調節を行い、ダム地点で最大514.35m<sup>3</sup>/sの流量を貯留し、ダムがない場合に比べ熊出水位観測所（鶴岡市熊出地内）において約62cm水位を下げ、下流河川の氾濫防止に効果を発揮しました。（図-2、図-3）

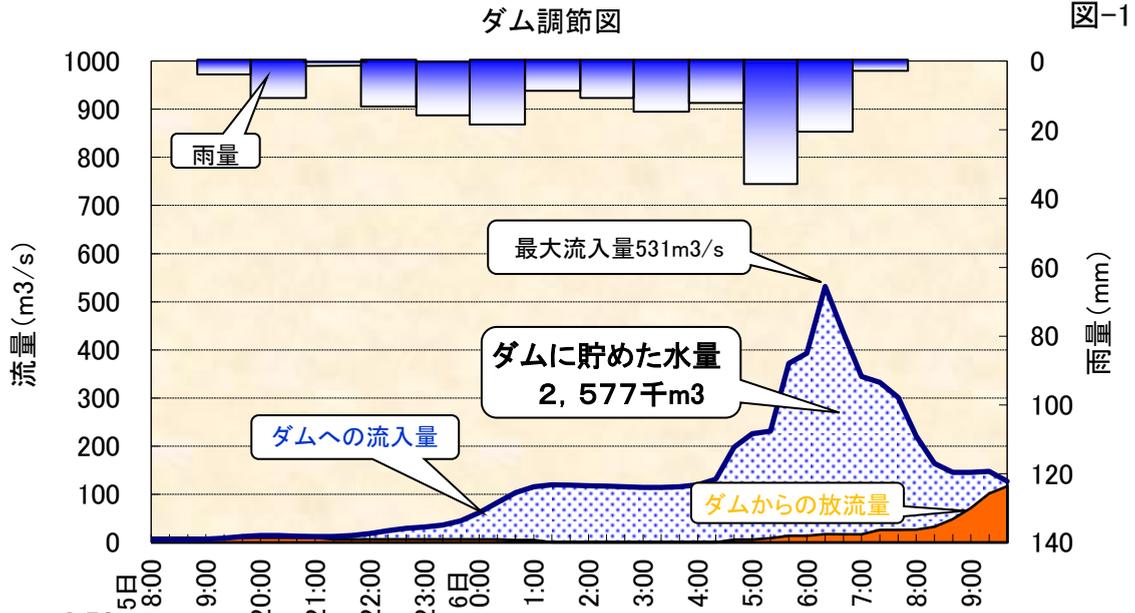


図-1

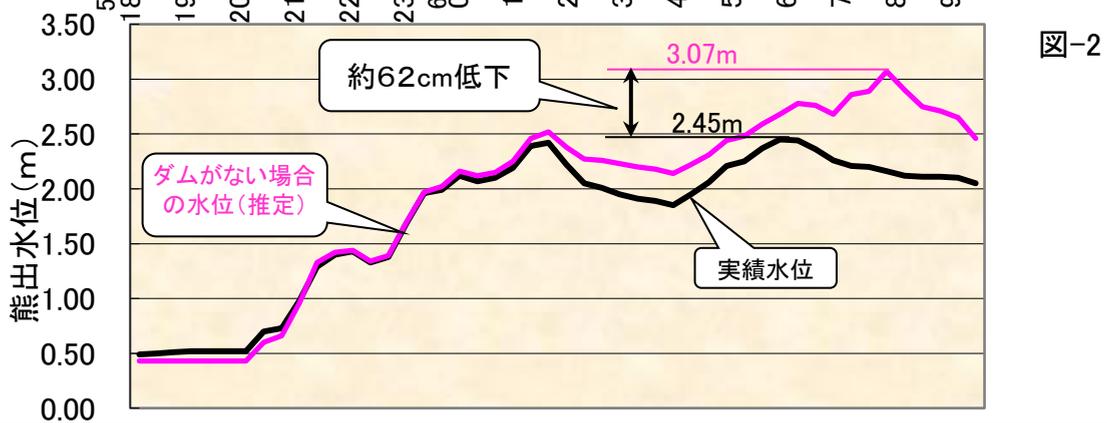


図-2

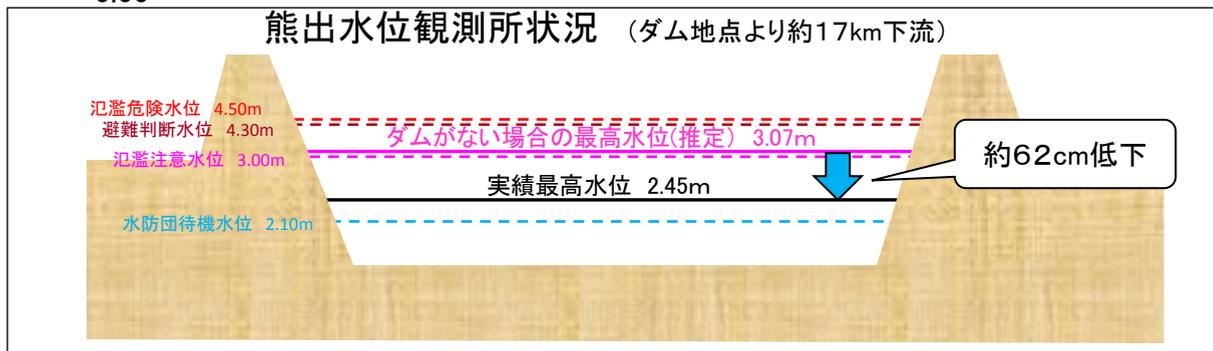


図-3

問い合わせ先  
県土整備部河川課ダム担当  
TEL 023-630-2616



表一1 荒沢ダム諸元表

水系名・河川名		赤川水系赤川
位 置		鶴岡市
目 的		洪水調節、発電、不特定かんがい
型 式		重力式コンクリート
堤 高	m	63.0
堤 頂 長	m	195.5
堤 体 積	m <sup>3</sup>	156,000
流域面積	km <sup>2</sup>	162.0
湛水面積	km <sup>2</sup>	1.89
総貯水容量	千m <sup>3</sup>	41,420
有効貯水容量	千m <sup>3</sup>	30,870
堆砂容量	千m <sup>3</sup>	5,375
洪水調節容量	千m <sup>3</sup>	17,570